

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都薬品工業(株)長田野工場第三製剤棟	階数	地上6F
建設地	京都府福知山市長田野町2丁目62	構造	RC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	25 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年7月 予定	評価の実施日	2009年7月1日
敷地面積	18,399 m ²	作成者	竹中工務店大阪本店設計部
建築面積	1,053 m ²	確認日	2009年7月21日
延床面積	5,624 m ²	確認者	竹中工務店大阪本店設計部



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合	福知山市長田野工業団地内に計画された製薬工場で、既存棟のコンセプトを踏襲したc-GMP対応固形製剤工場。主体構造は、梁形のないシンプルな天井内設備配管を実現するノンキャピタルフラットスラブ(1~3階のみ)と自由な生産設備レイアウトを可能にする外壁耐震壁を採用している。	0
Q1 室内環境	医薬品製造工場特有の外的環境を抑制した室内環境を実現している。	Q3 室外環境(敷地内) 工場立地法に準じて、特に公共道路側に緑地を集中して確保し、加えて隣接街区公園からの建物の圧迫を低減するためにセットバックした施設配置を行っている。
Q2 サービス性能	設備系配管の必要スペース・更新時のメンテナンス性から階高や構造・設備形式を決定し、医薬品生産工場特有の自由な設備レイアウトを可能にするサステナビリティに重点をおいた設計を行った。	LR3 敷地外環境 自動車等による移動が主な地域であるため、社員の通勤手段を常に把握し必要な駐車駐輪スペースを確保調整している。 医薬品工場では、虫の飛来進入による屋内環境の悪化を防止するために屋外照明を抑制し、内部の光が漏れる外
LR1 エネルギー	全館に渡って高効率機器・器具を採用しており、運用上も給気静圧制御や「モード」等を盛り込み、省エネルギー、省CO ₂ を図っている。	
LR2 資源・マテリアル	設計施工者は、リサイクル材使用を推進。今回設計についてもリサイクル材(電炉鋼材、再生骨材(路盤用)、グラスウール、ロックウール、石膏ボード)を使用予定	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい